

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	ドキシル
診療科名	産婦人科
診療科責任者名	大塚 伊佐夫
適応がん種	がん化学療法に増悪した卵巣がん
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Ov-20
登録日・更新日	2009年7月29日
削除日	
出典	ドキシル注適正使用ガイド
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	ドキシル注	20mg	50mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	1mg/分	Day1
	ブドウ糖液5%	投与量90mg未満の場合250mLで希釈、90mg以上の場合500mLで希釈				

1コースの期間	28日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能()日・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%
減量・中止基準	<p>【2コース目移行投与基準】 PS0~2 ANC\geq1,500/mm³ Plt\geq7.5万/mm³ T-Bil$<$1.2mg/dL 手足症候群・口内炎\leqGrade1 (Grade3,4の経験があるときまたは、投与を2週延期してもGrade2のとき25%減量して再開) その他の副作用\leqGrade2</p> <p>【減量基準】 持続性のANC減少(ANC$<$500/mm³が7日以上継続もしくは投与後22日目までに軽快しない)25%減量 Plt$<$2.5万/mm³が認められたとき25%減量 T-Bil:1.2~3.0mg/dLのとき25%減量、3.0mg/dLを超える(薬剤との因果関係なし)とき50%減量 Grade3,4の手足症候群:25%減量 その他の副作用:Grade3,4の手足症候群:25%減量</p> <p>【中止基準】*2コース目以降に適応 LVEF$<$45%もしくはベースラインからの20%以上低下 T-Bil$>$3.0mg/dL(薬剤との因果関係が否定できない) Grade3,4の手足症候群(投与を2週延期してもGrade2以下に軽快しない) Grade3,4のその他の副作用(投与を2週延期してもGrade2以下に軽快しない)</p>
前投薬	指定なし 前投薬を投与する際は、ドキシル投与前に必ずラインを5%ブドウ糖液でフラッシュする。
その他の注意事項	総投与量500mg/m ² を超えての投与は行わない

記入者	安室 修
確認者	大塚 伊佐夫